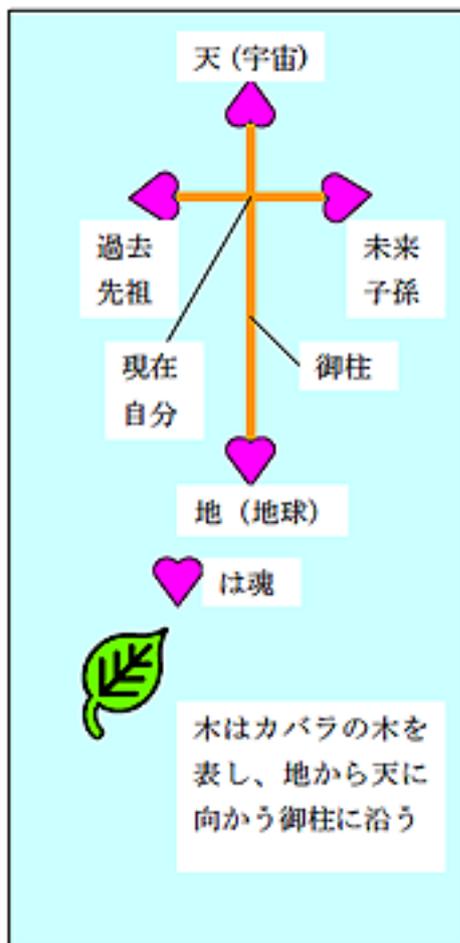


フローリーディング研究所マーク



マーク解説



Golden Soul Light の意味

Golden 金の輝き
Soul 金の魂
Light 魂の輝き

自分自身の
“魂の気づき”
“人生の目的”
“生きる喜び”

「天命」に目覚めた時に
自身の魂は金色に輝く

モチーフの表す

-  ・ ・ 蝶は天使の使い
-  ・ ・ 蝶は神様の使い
-  ・ ・ 太陽 ・ ・ 天照大神
-  ・ ・ 月 ・ ・ 月読命
-  ・ ・ 星 ・ ・ 須佐之男命

・ 神道「三光の法則」が含まれております。 以下参照。

「日・月・星」の三元の法則

人間は単にこの世に生まれてきたのではなく、天地の霊をその身体で受け止めてきている

天照大神は太陽を象徴—記紀では日神といい、高天の原に住まわれています

*高天の原・・・明るい理想郷、日の本、太陽を意味し、人間を始め森羅万象万有の生命の根源

月読命（つきよみのみこと）は月で夜の領域—私達が成長し、森羅万象を生む仕組みを司る

素盞鳴命（すさのおのみこと）は海原を知らせること「治らさ」は食国（おすくに）「治めなさい」

ということ。～四季の運行を司る神

*海原・・・地球を現す 波は七・五・三に打っているともいわれる

*食国（おすくに）・・・月の満ち欠け、潮の干満、四季の運行の変化を表し、地球上に住む生物は食べることから始まるので、人間をはじめ地上界のことを食国といいます。

天照大神 — 太陽

月読命 — 月

素盞鳴命 — 星

この後三体は私達が住む太陽系を統括しております

百の光を欲するものは百のお光が、千万無量の光を得たいものは、千万無量の光が授けられます。

この光の働きが、太陽神（天照大神）の御神徳なのです。人間は単にこの世に生まれたのではなく、天地の霊をその身体で受け止めて生まれたのです。

太陽の光、月の光、星の光を受けることを「誓」「受霊」「宇気比」（うけひ）といい、大宇宙の大霊（魂命霊気）の仕組みが人間の—霊四魂に宿っています。

日 — 生命の根源

月 — 生む仕組み

星 — 春夏秋冬の巡り、十二ヶ月の巡りをさす

三光の原理

- 「日・月・星」の法則 気体・液体・固体の巡りを示します。
- 「生命即不滅」の原則 天地・自然の巡りは物理的には、
気体→液体→固体の順に「生滅即不滅」の原則を守ります。
逆に固体→液体→気体は、人間が死んで霊界に上がることを示します。
- 「三角・丸・四角」神道では、三角＝気体 丸＝液体 四角＝個体 を表します。
- 「使命・生命・宿命」神から使命を下され、その使命を自ら悟り、自覚する時に神の気を受けます。
この気が三角です。その気を受けることで、それが丸となって、
生命の誕生になります。＝「受気霊うけひ」
神から「うけひ 受気霊」した使命を肉体が活着しているうちに完全にやりとげるによって、
初めて、固体とした地盤ができます。四角は“宿命”を表します。
人には「使命・生命・宿命」があります。
- 三種神器 — 大自然と調和してバランスをとる、人間としての歩むべき道、生活の基本が説かれています
御鏡 — 伊勢神宮 草薙剣（くさなぎのつるぎ） — 熱田神宮 ヤサカニの勾玉 — 宮中

・「洗米」「水」「荒塩」を神棚に捧げることは・・・？

米＝身体を作る 水＝生命のもと 口の禍いを防ぐ

塩＝真心を表す。調和のもと。邪気、悪気、毒気を清める

「真・善・美」「智・人・勇」「天・地・人」のバランスが全て「塩・水・洗米」によって表されている。

三光の原理

日・月・星の順行に従い、すべて実行に移す時、

人間は天地とともに順調な歩みが出来ます。これを「三元の法則」と呼びます。

		
気体	液体	固体
		
星	月	太陽
使命	生命	宿命
剣	玉	鏡
未来	現在	過去
真	善	美
智	仁	勇
塩	水	米
青色	赤色	黄色